

大川村議会維持対策検討のためのアンケート調査

【集計資料】

アンケート実施期間：平成29年 6月28日 ~7月11日（7月18日到着分まで集計）

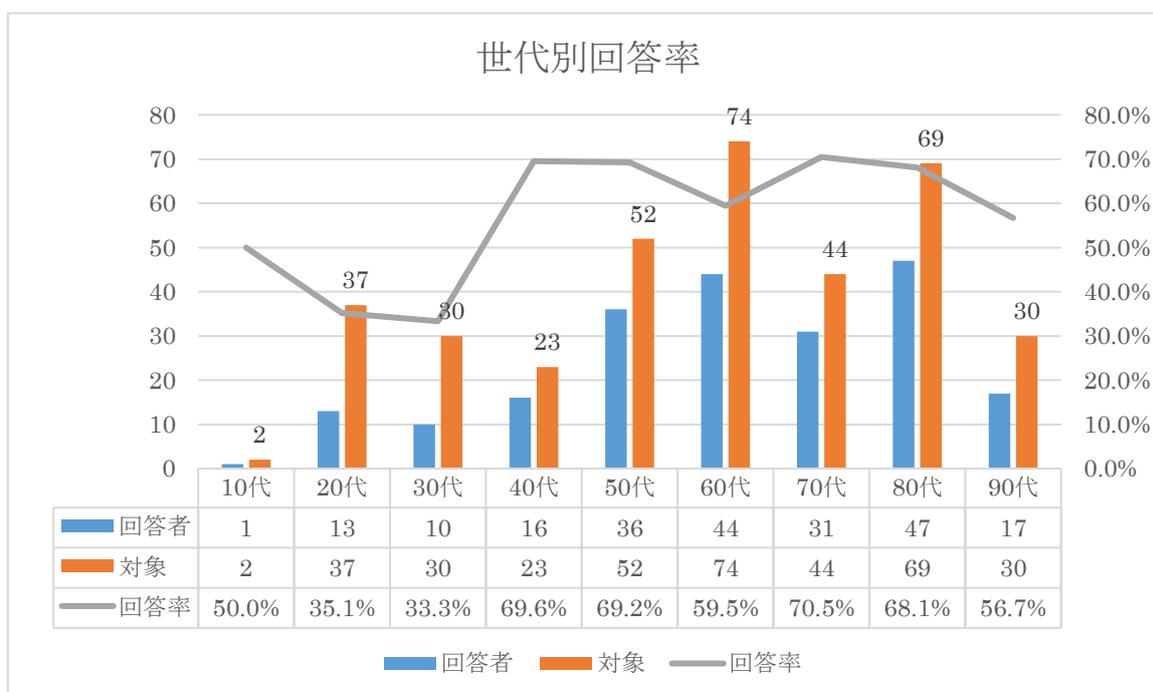
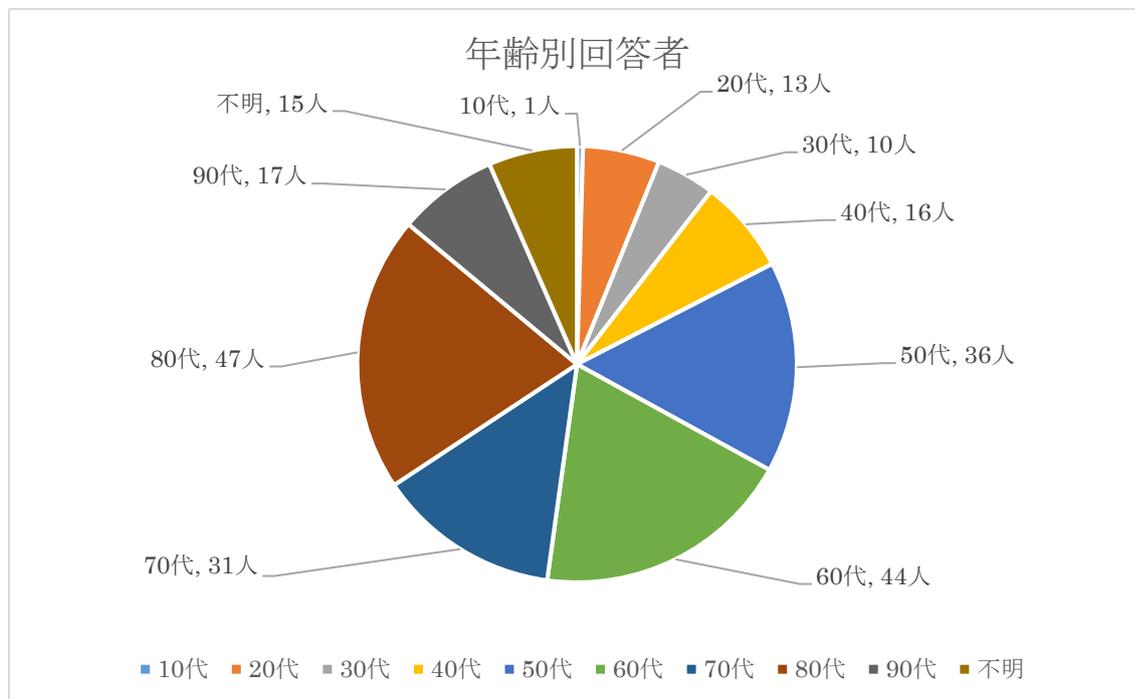
回答数（白紙含む）：230 / 361（回答率63.71%）

内訳

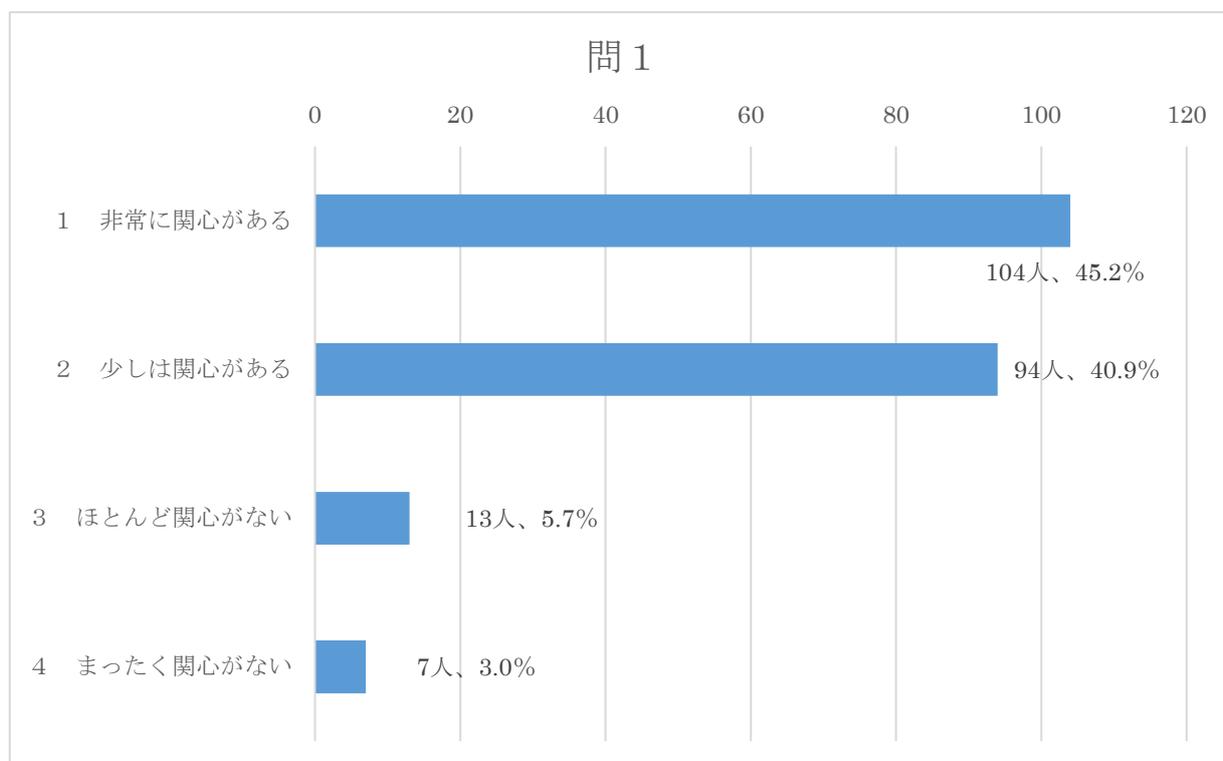
【性別】 男性102人 女性108人 不明 20人

【年齢層】

10代 1人
 20代 13人
 30代 10人
 40代 16人
 50代 36人
 60代 44人
 70代 31人
 80代 47人
 90代 17人
 不明 15人

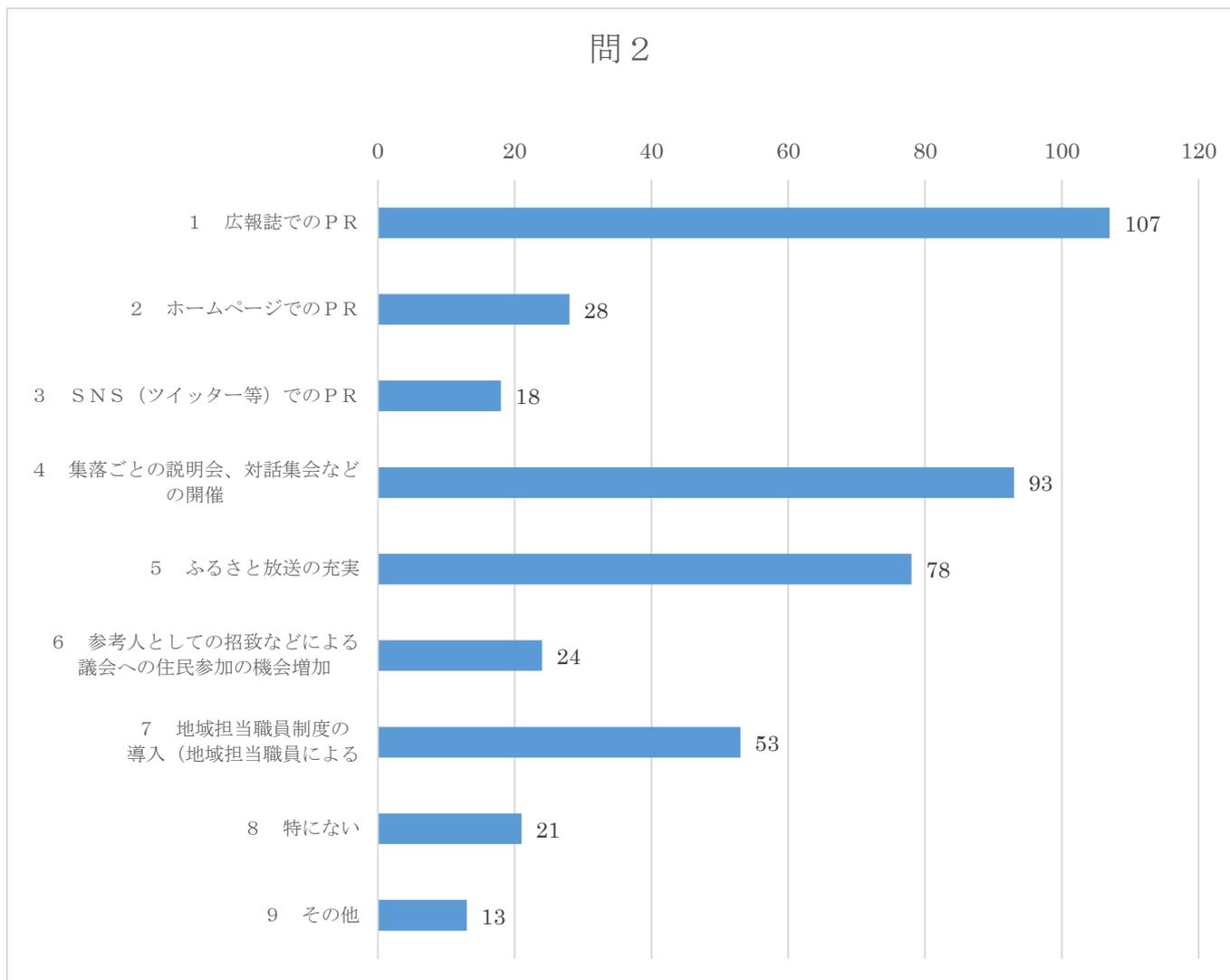


問1 村の政策（予算やまち・ひと・しごと創生総合戦略など。以下同じ。）に関心はありますか
（ひとつだけ○をつけてください。）



不明、未記入等 12人、5.2%

問2 村の政策に対する村民の関心を高めるために村や村議会が実施すべきことは何だと思いますか。
 (当てはまるものすべてに○をつけてください。)



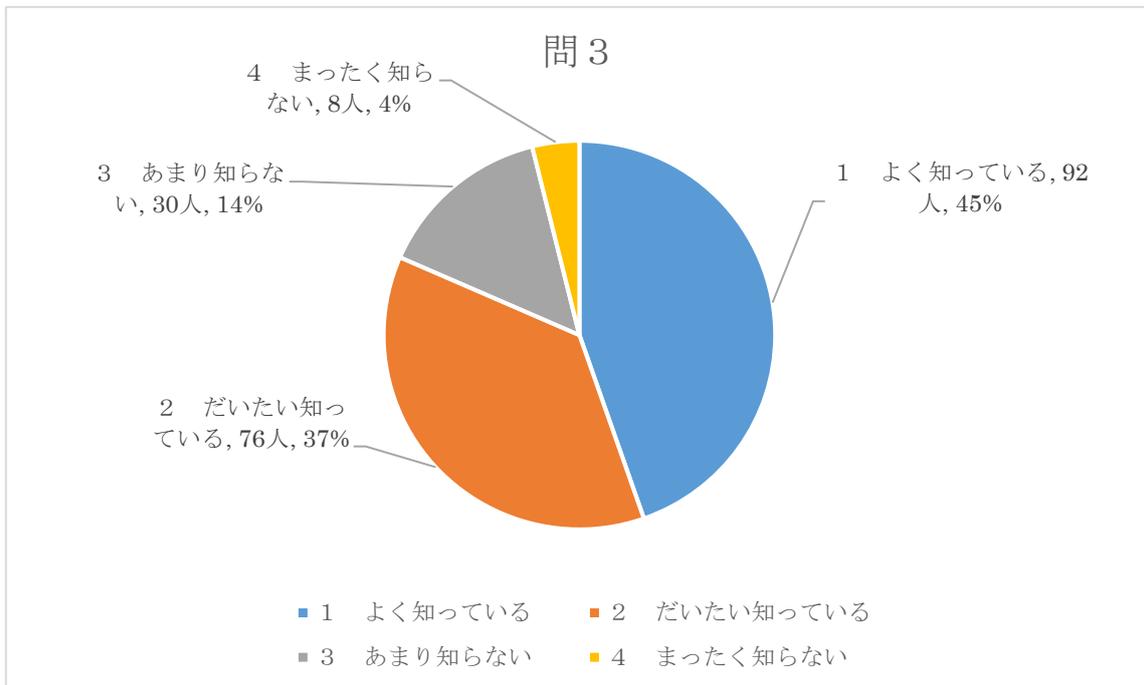
【その他】

- ・ 本人が政策について意見を述べる場が必要では
- ・ 議員さん、4年に1回しか来ない。継続調査しているのか
- ・ 議員と住民の話し合い
- ・ (広報誌で)円グラフ化する等、〇%〇〇にお金を投資し、収益をあげているなら、なにをどのようにあげているのか透明化することがよい。
- ・ 議会に参加しやすいようにしてほしい。
- ・ 議会をオープンにし、誰でも自由に参加をできるようにし、意見を述べていいようにする
- ・ 地域政策を指導できる人材育成（情熱を持つ人間）
- ・ 小さな集会から財政、議会に対して関心を深める対策が必要だと思う
- ・ 全て実施して良かったものを続ける。
- ・ 職員の失敗を恐れない前向いた取組み、それを支援する村、特に議会の環境づくり

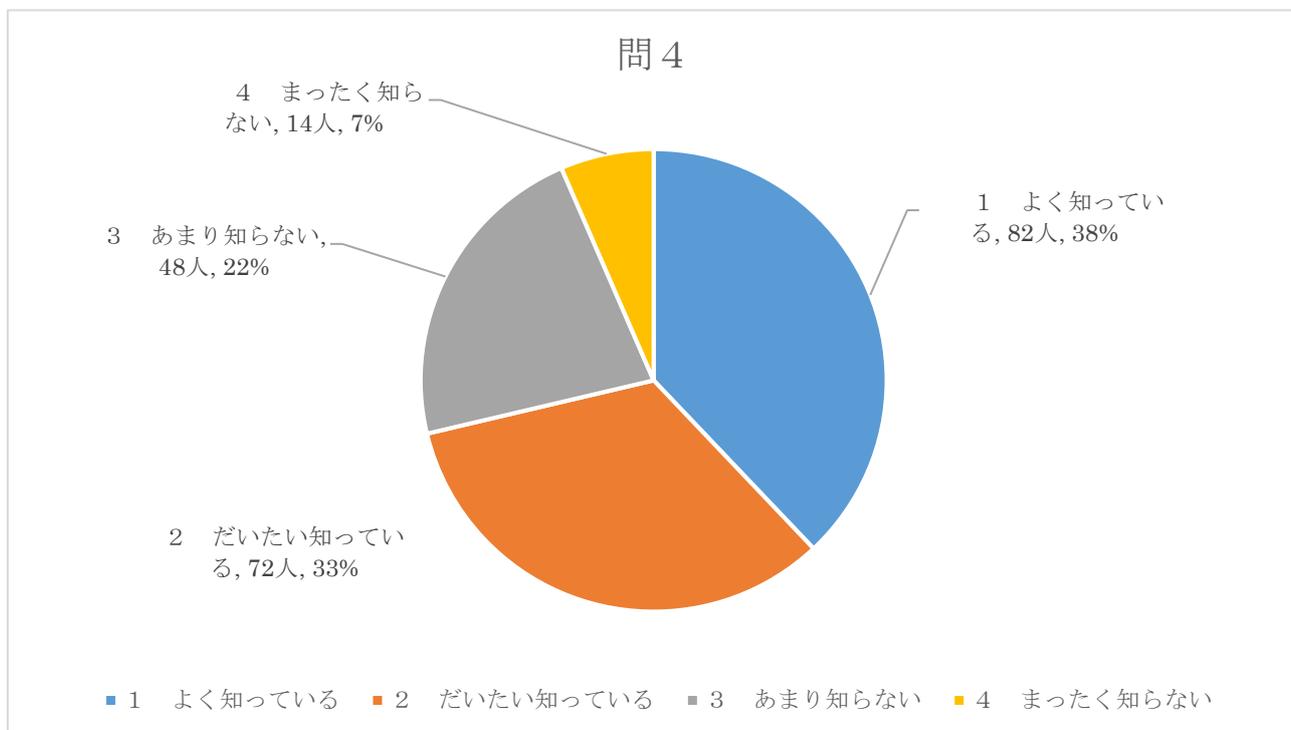
- ・子どもの頃から村政に関心をもたせることが必要なのではないのでしょうか。子ども会議の開催や議会を子どもにもわかりやすく教えるなど
- ・人のことよりも自分をみがきましょう（けなすだけがよいとはいえません）
- ・村長は村民一つになってといつも言うが、村民には何も知らされず村と議会で行うことが多い。
- ・ふるさと放送で村民が全員聞いていると思っているなら思い違いもはなはだしい。はたして何人が放送を聞いているだろうか。しかも昼間はみな仕事をしているのでは。行政、議会は放送されているので周知したと思っているのではないか。
- ・現議員は住民を代表しているなら少しは地域巡回をするなど住民の意見を聞くべきである。そのために報酬を受けている。

問3 村議会の議員は、選挙によって選ばれた住民全体の代表として、村の意思を決定する役割や村政をチェックする役割などを有し、議会での予算案、条例案などの議決や議案提出、委員会での調査・審査などの活動をしています。知っていましたか。

(ひとつだけ○をつけてください。)



問4 村議会の開催時期を知っていますか。 (ひとつだけ○をつけてください。)



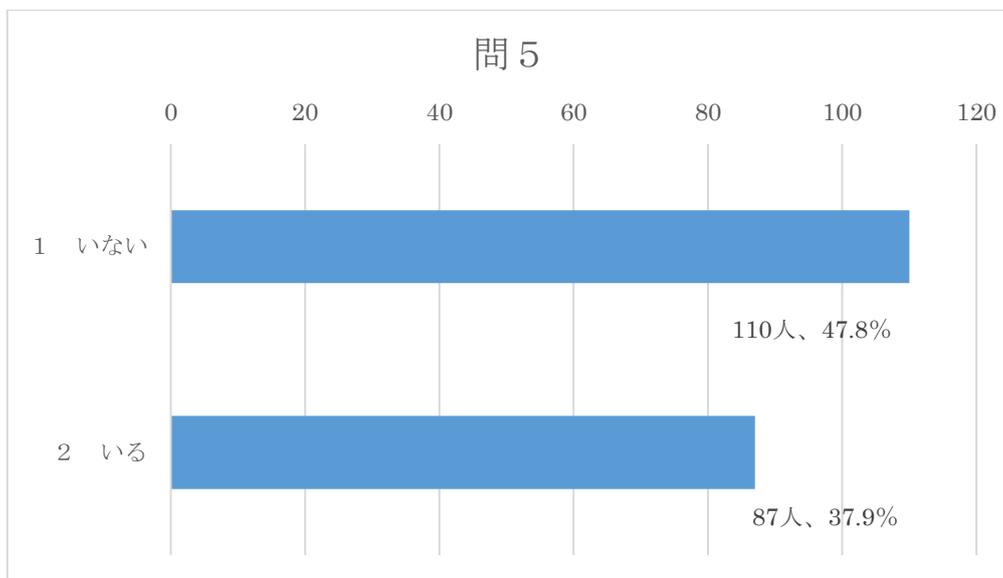
問5 現在の議員以外に村民の中で議員候補として推薦したい方はいらっしゃいますか。

(ひとつだけ○をつけてください。)

1. いない 【問8へお進みください】

2. いる 【問6、問7をお答えください】

いる場合は、その方の職業をお書きください。また、地域の役職を務めておられる場合は、わかる範囲でその役職名をお書きください。



未記入、白紙等 33人【14.3%】

【自由記載欄の役職名】

農業、林業、社会教育指導員、郵便配達員、部落長、団体職員

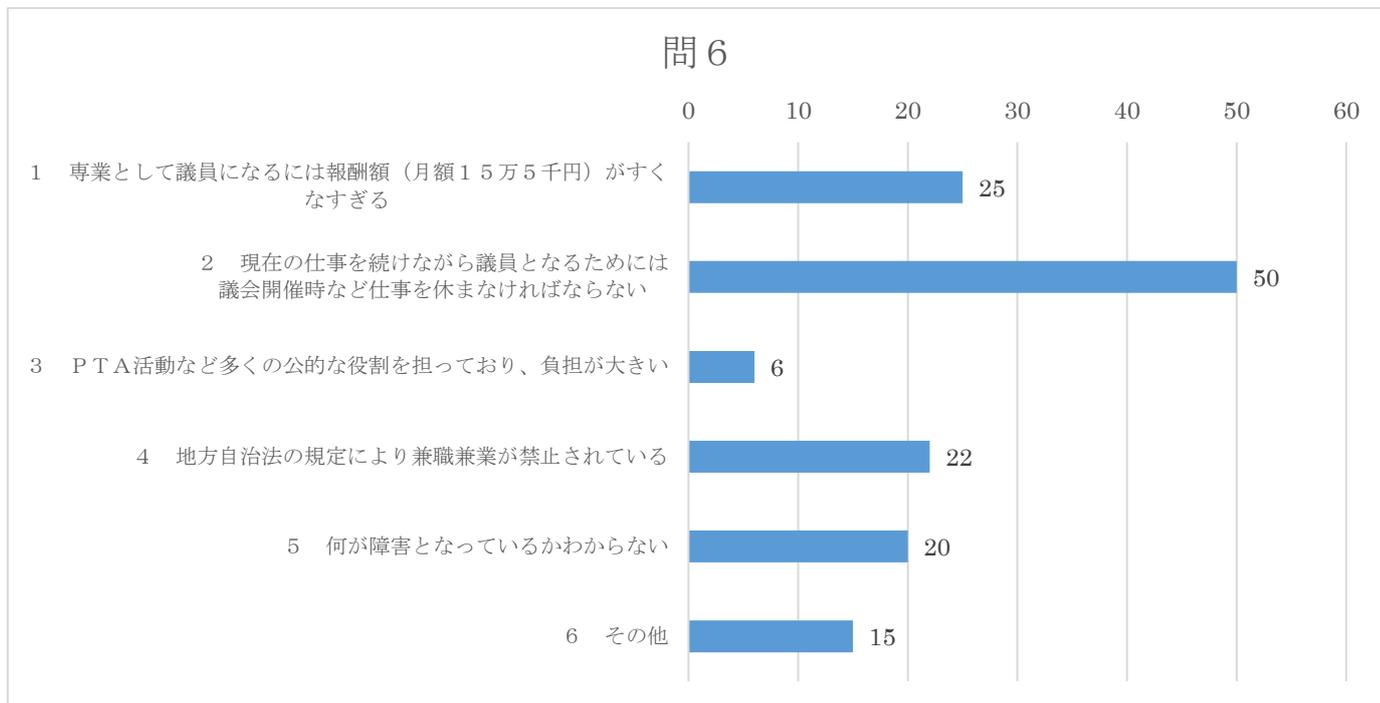
無職、自営業、元役場関係者、ふるさとむら公社、JA職員、学校用務員

会社員、第3セクターの職員、花の栽培、役場定年退職者、社協役員

公務員、事業主等、花づくり、退職者、職場の上司、いろいろ

問6 (問5で「2. いる」と答えられた方のみお答えください。)

その方が村の議員として活動するために障害となっていることは何だと思えますか。
(当てはまるものすべてに○をつけてください。)



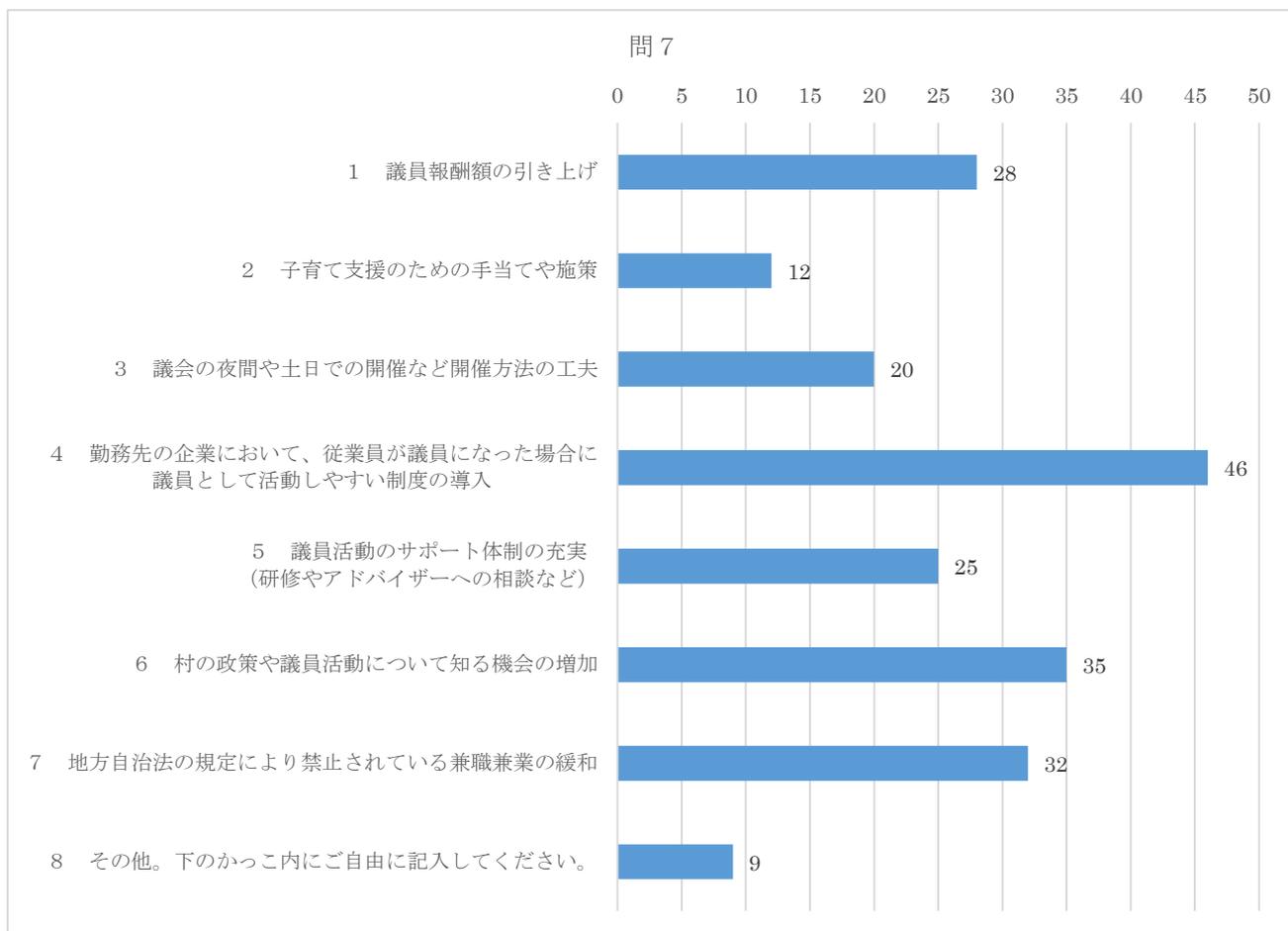
【その他】

- ・ 議会に魅力がない
- ・ 今は立候補していないが、村議選が近づけば手を挙げるのではないか
- ・ 会社や会社勤めの方々に迷惑をかけないか心配なのでは
- ・ 村存亡の危機と自覚して要望に答えてほしい
- ・ (公共性、非公共性) = (営利、非営利) 判断
- ・ 定年の近い人がいる。このような人ならできる。
- ・ 155,000円だけではないと思う。ボーナス、その他の手当ても記入すべきと思う【設問に対し】
- ・ 人間関係、独裁政治が障害
- ・ 障害がありすぎるため、整理できないと思う。

問7 (問5で「2. いる」と答えられた方のみお答えください。)

その方が村の議員として活動するためには何が重要だと思いますか。

(当てはまるものすべてに○をつけてください。)

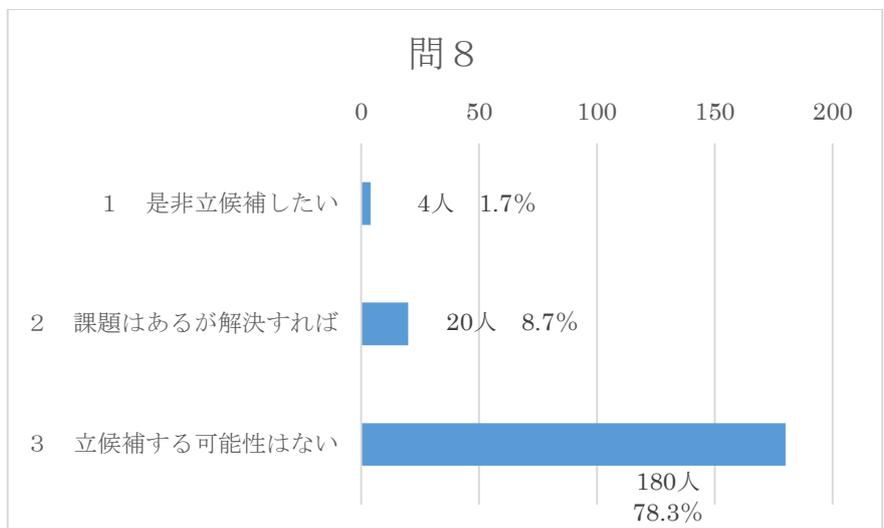


【その他】

- ・ 安易な報酬の引き上げや優遇の向上が村政への関心につながるとは考えにくい。村の施策や状況を学ぶ機会を増やし、地域の将来を皆で考える土台づくりが必要ではないか。
- ・ 現在の議員に勝てない、地盤があるから。
- ・ いかに立派な方でも一人よがりでは出来ません、若者、先輩、和をもって良く話し合ってください、大川村のために
- ・ いずれにしても一人かっこうよくしないで全員でやってほしい
- ・ 今の議員を全部のけて減俸と同時に全員をかえてみてはどうでしょうか？
- ・ 独裁政治が行われなくなること。
- ・ しがらみ
- ・ (議員報酬について) 反対。議員活動のみに徹していくわけではないので。今でも大川の生活水準から見ても、又、仕事内容からしてももらいすぎではないか。報酬の引き上げで人材がつかられるはずがない。

問8 あなたは村の議員に立候補する可能性はありますか。(ひとつだけ○をつけてください。)

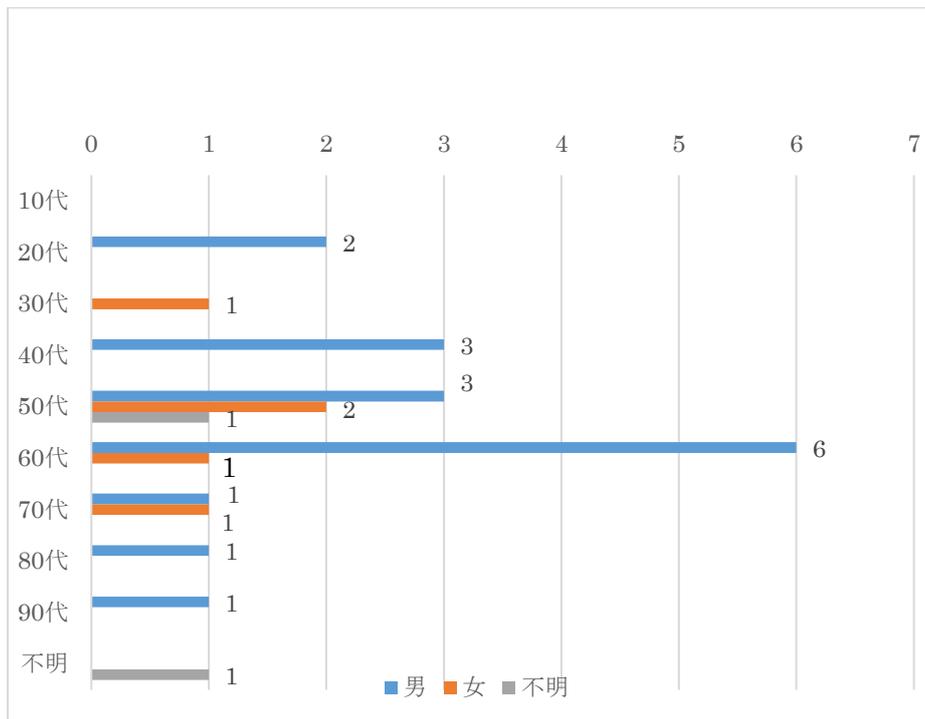
1. 是非、立候補したい
2. 課題があるが、解決すれば立候補も検討したい 【問9をお答えください】
3. 立候補する可能性はない 【問10をお答えください】



白紙、未記入 26人 11.3%

【参照分析】

是非立候補したい、課題はあるが立候補したい人数の年齢別、男女別内訳



参考

・是非立候補したい人の4名の職業

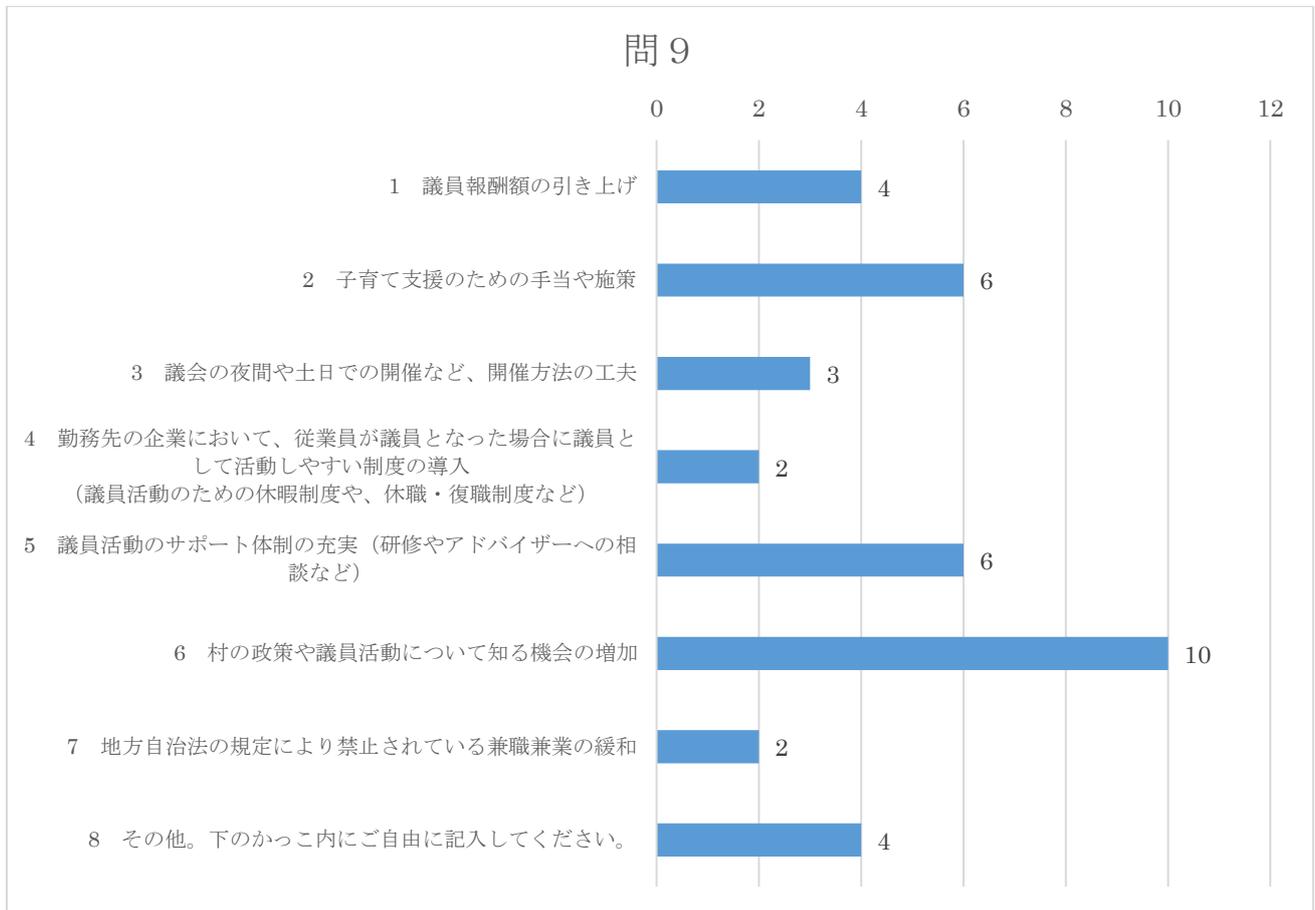
【農業1名、技術職1名、無職1名、その他1名】

・課題があるが、解決すれば立候補も検討したい人20名の職業

【労務職2名 事務職4名 管理職2名 農業5名、主婦・主夫1名、無職2名、その他3名、不明1名】

問9

(問8で「2. 課題があるが、解決すれば立候補も検討したい」と答えられた方のみお答えください) あなたが村の議員として活動するためには何が重要だと思いますか
(当てはまるものすべてに○をつけてください。)



【その他】

- ・あたまでっかちではダメ。働く人にもっとわかりやすいアドバイスを必要とする。難しい言葉だけではいいとは思えない。
- ・特に課題はないが、是非、立候補したいとも考えていない

問9 E X

課題があるが、解決すれば立候補も検討したい回答者の回答分布

選択枝

1. 議員報酬額の引き上げ
2. 子育て支援のための手当や施策
3. 議会の夜間や土日での開催など、開催方法の工夫
4. 勤務先の企業において、従業員が議員となった場合に議員として活動しやすい制度の導入（議員活動のための休暇制度や、休職・復職制度など）
5. 議員活動のサポート体制の充実（研修やアドバイザーへの相談など）
6. 村の政策や議員活動について知る機会の増加
7. 地方自治法の規定により禁止されている兼職兼業の緩和
8. その他。下のかっこ内にご自由に記入してください。

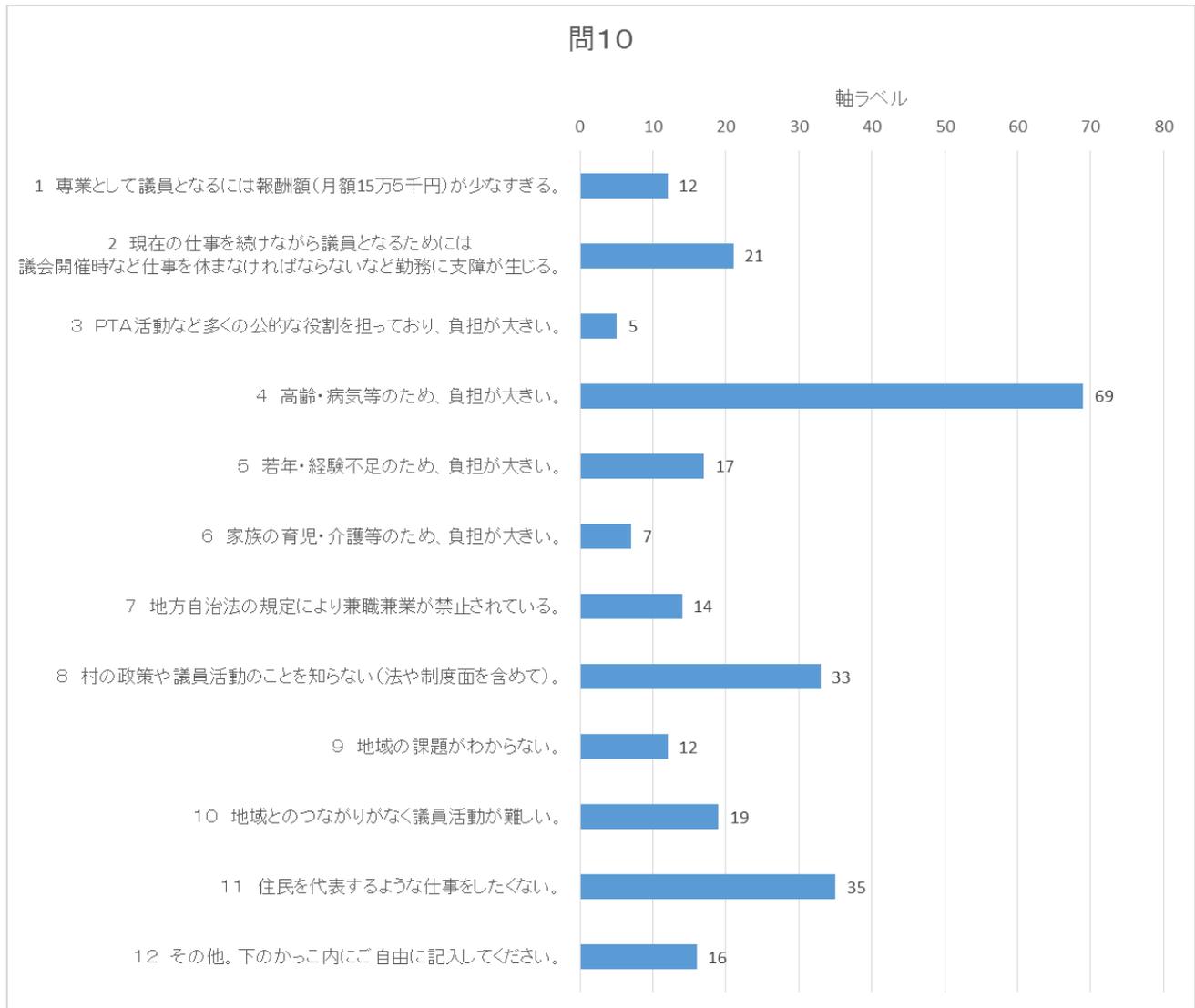
性別	年代	職業	選択 1	選択 2	選択 3	選択 4	選択 5	選択 6	選択 7	選択 8
男	20	労務職								
男	20	事務職								
女	30	事務職								
男	40	管理職								
男	40	事務職								
男	40	労務職								
男	50	その他								
男	50	その他								
女	50	主婦・主夫								
女	50	事務職								
不明	50	管理職								
男	60	無職								
男	60	農業								
男	60	農業								
女	60	その他								
女	70	農業								
男	70	農業								
男	80	無職								
男	90	農業								
不明	不明	不明								
計			4	6	3	2	6	10	2	4

問 10

(問 8 で「3. 立候補する可能性はない」と答えられた方のみお答えください。)

あなたが村の議員として活動するために障害となっていることは何ですか。

(当てはまるものすべてに○をつけてください。)



- ・ もっと誰もが入ってきやすい場をつくる必要があります。
- ・ 他にしたいことがある。私は私のやり方で村に貢献したい。
- ・ 同じ村内に住んであんな難しい言葉は無用です。もっと誰でも入って来やすい場をつくる必要があります。出来る方は影に潜んでいてはダメ。引き出すような案を作ってください。大勢いますよ。がんばって村を生まれ変わらせてください。
- ・ 自分の生活で精一杯
- ・ 立候補するなら政治に命をかける責任をもつこと
- ・ 私は直接民主主義への移行を希望するため。議員制度はいらないと考えるため。
- ・ 私よりも村民に貢献できる方が多くいらっしゃいます。
- ・ 議員に興味がない

- ・ 議員活動に自信がない（性格的に）
- ・ 移住の目的と違うため
- ・ 難しい字や言葉がわからない

問 1 0 E X 各世代別の立候補する可能性のない理由の選択分布数

N O	選択肢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明
1	専業として議員となるには報酬額(月額15万5千円)が少なすぎる。	0	2	4	1	2	2	0	0	1	0
2	現在の仕事を続けながら議員となるためには議会開催時など仕事を休まなければならないなど勤務に支障が生じる。	0	5	4	3	6	3	0	0	0	0
3	PTA活動など多くの公的な役割を担っており、負担が大きい。	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1
4	高齢・病気等のため、負担が大きい。	0	0	1	2	3	11	16	25	9	9
5	若年・経験不足のため、負担が大きい。	1	7	3	0	4	1	0	0	0	0
6	家族の育児・介護等のため、負担が大きい。	0	0	2	0	3	2	0	0	0	0
7	地方自治法の規定により兼職兼業が禁止されている。	0	3	0	4	4	0	0	3	1	0
8	村の政策や議員活動のことを知らない(法や制度面を含めて)。	0	4	1	2	11	6	2	2	1	4
9	地域の課題がわからない。	0	3	0	1	2	4	1	1	0	0
10	地域とのつながりがなく議員活動が難しい。	0	3	0	1	3	5	4	2	1	0
11	住民を代表するような仕事をしたくない。	1	3	3	2	5	11	4	3	0	3
12	その他。下のかっこ内にご自由に記入してください。	0	3	1	0	7	2	0	0	1	2

【自由記載質問】

村議会の維持についてご意見などございましたら、ご自由に記入してください。

- ・後期高齢で議員の存続が難しいのであれば、交代することも大事だと思う。その為にははっきりと引退表明をしないと次の立候補者は今までと同じで立候補しないと思う。
- ・現議員も名だけで村民との対話なく、親しみ、信頼がもてない。
- ・時々聞きますが、(判読困難)にダメという人をよく聞きます。今、秋の謝肉祭が広くアピールしていますから、大川村全員で盛り上げていきましょう。村長しっかりしてください。今のままではダメだと思います。
- ・村民総会は物理的に無理だと思います。ただ、議会はどうしても存続させなければならないと思います。人口も少ないなりに工夫して部落長で会を形成すると各代表も交えて話し合いをする等、可能な方法でやっていけばよいのではないかと思います。「そんなもんじゃない」と村や議員の方はおっしゃると思いますが、頭をやわらかくもって、何だって考え方、工夫しだいで難しいことはないものです。考え方のありようだと思います。そして、今こそその柔軟性が必要な時なのではないかと思います。
- ・議会の体質の改善
- ・若い議員が誕生した場合、慣例にとらわれず意見が反映される議会、行政であってほしい。
- ・青年団、婦人会等に協力を求める。若しくは希望者を募り、毎月、村政塾を用いて議員の仕事内容や必要性について議論してはどうか。最終的には議員候補を推薦してもらう。
- ・議員定数の削減、議会の開催日時、方法の工夫、議員は無給ボランティアとする。
- ・上記にあげたように、まずは今の住民が抱える課題を解決するために、議会や村が中心となってがんばってほしい。今の人たちが大川村っていい所と思えるような村になれば、PRできることも増えるし、おのずと移住者も増えるのでは？そうすれば、移住者の中にも議員としてやっていけるような人材が現れるのではと思う。自分は議員に立候補はしたくないが、村民の一員として自分なりにできる協力はしていこうと思う。
- ・女性の方で議員になって下さるような方はいらっしゃるのでしょうか。もし、思い当たる人がいれば声をかけてみるのも必要では？
- ・村議会議員に望むこと 村の現状を知り、責任をもって、村政に積極的に関与すること。私的(事情による)より公的責任を優先することが肝要である。
- ・私は村議会維持に反対です。直接民主主義を実現する方がよいと思います。
- ・私利私欲のない方で村民のために献身的に働いてくれる方に議員になっていただくのがベストだと思います。議員報酬が少ないと、仕事をやすまなければならないとか、不平、不満のある方に議員になっていただきたいはありません。無条件に誠実に村民に貢献して下さる方に議員になっていただきたいと思います。
- ・女性の議員も育ててはいかがでしょう。
- ・一番簡単なのは議員報酬額の増額。手間と時間と費用を考えれば、批判は少なく、後者にかかる費用よりも安い(?)のでは？総会1回で決められる議題は限られるのではないかと。その分、村長の専決が増える。全てを総会にかければ、時間、回数がどれだけかかるのか。現実的ではない。

・維持すべき

・村議会を維持したとしてもこの先明るくなるとは思いません。それならば今まで誰もやったことがないけれど、日本の未来のためになることをしてもよいのではないと思います。

・とりあえず、議員報酬の引き上げをし、子育て支援のための手当や施策、勤務先の企業において従業員が議員になった場合、活動しやすい制度を導入したりすれば議員に立候補する可能性のある方がおられるのではと思います。村の政策や議員活動の勉強会を開いたりして若い方に関心をもってもらえるとありがたいと思います。

・議会（議員）への入口の敷居を低くし、間口を広げ、より多くの民意を反映しては？

手段として定数を10～15にして年報酬は60万円程度にする。一人に係る負担も軽減できるのでは。

・若者や移住者も増え大川村の活性化が進んでいる時期だと感じている。大川村のさらなる発展のためにも、議会の維持が望ましい。一村民として議員のなり手への支援や地域活動への積極的な関わりを続けていきたい。今回の問題を、村がさらに良くなるきっかけにできればと思う。

・若い者の芽を摘むな。育てよ。田舎独特の因習にとられるな。役場職員を含め、議員がもっと勉強すべきである。

・昼間ふるさと放送は聞けませんし、夜間に再放送していただければどういふことを話合われているのか分かります。広報では何ヶ月も先になる。

・議員活動に専念するために議員報酬を引き上げすべきだと思います。

・今回の「村総会」騒動については村民に何も知らされず、いきなり報道から知らされたことで、いかに議会、行政のみで政策などが行われているか、村民の知らない所で進められているのが浮き彫りになった。議員になり手がいないとか、村民を見下したやり方に腹立たしい。議員、行政者がいかに村民に対して仕事をしていないかがわかった。その事に気づかない指導者（議長、村長様）もっと住民の意見をよく聞くように。

【分析】

まずアンケート回収率については63.7%（230/361）と任意回答の行政アンケートとしては高い数値である。しかしながら、本来、議員への立候補者として期待する世代の意見としてデータを希望していた20～30代の回答率がそれぞれ約30%程度と他の世代と比べて低いことが、村議会への関心の無さを含んだ若者の参政意識の低さという懸念を表している。

問1においては「非常に関心がある」、「少しは関心がある」が全体の8割を超え、村の政策そのものへの関心の高さは見られる。この関心をより高めるために村や議会が実施すべきことは何かという問2については、広報誌やふるさと放送の充実等の既存の広報手段でのPRの他、集落ごとの説明会、対話集会の開催、地域担当職員制度の導入等、これまで議会や村が殆ど行ってこなかった対策についても希望する村民が多かったが、現実的には開催しても集まらない現状がある。問3、問4の村議会の活動、開催時期については「よく知っている」「だいたい知っている」が殆どであり、議会への関心の有無はともかくとして村議会の制度そのものについては理解していることを知る結果となった。

問5の「現在の議員以外に村民の中で議員候補として推薦したい方はいるか」との問いには87人の方が「いる」と回答しており、その87人を対象とした問6「その方が村の議員として活動するための障害は何か」については「現在の仕事を続けながら議員となるためには議会開催時などには仕事を休まなければならない」の回答が特に多く、続く「その方が村の議員として活動するためには何が必要か」という問7についても「勤務先の企業において、従業員が議員になった場合に議員として活動しやすい制度の導入」をあげる方が多くおり、本来の仕事と議会議員の仕事の両立の困難さが立候補の妨げになっていることを感じている人が多い事が見受けられる。同様に仕事上の課題として「兼職兼業の緩和」をあげる回答者も多かった。

問8の「あなたは村の議員に立候補する可能性はありますか」の問いに「是非、立候補したい」との回答は僅か4名に留まり、「課題があるが解決すれば検討したい」は20人だった。この20人を対象にした「あなたが村の議員として活動するためには何が必要か」の問9は全体的に回答が分散しているが、「村の政策や議員活動について知る機会の増加」をあげる人が比較的多くおり、まずは村民が自分たちの住む村の行政や議会への関心を抱くことが、議会維持も含めた参政意識向上への第一歩であることがうかがえる。問8で「立候補する可能性はない」と回答した方を対象にした「議員として活動するための障害は何か」を問う問10はアンケートの回答者に70代以上の高齢者が多いことから必然的に「高齢、病気等のため、負担が大きい」に回答が多く集まった。「議員報酬が少ない」の回答は低く、「住民を代表するような仕事をしたくない」の回答が比較的多いことから、多くの方が議員活動の重責を感じている事が示される結果であった。

